

「橋梁耐震補強マップ」を公表 (地震時の道路ネットワークを平成19年度までに完成)

取扱い：発表後の取扱自由

記者発表資料

○ 緊急輸送道路^(注1)は、大規模地震時における救助・救援活動や緊急物資輸送のために極めて重要な役割を担っており、大規模地震時に緊急輸送道路がその機能を発揮するためには、橋梁の倒壊や落橋を防止するための耐震補強を行っておくことが必要です。

(注1)「緊急輸送道路」は、平成7年1月に発生した兵庫県南部地震を教訓に、地震直後から発生する緊急輸送を含む応急対策活動を円滑に実施するために、港湾や空港と防災拠点施設との連携確保路線として、平成8年7月沖縄県緊急輸送道路ネットワーク計画等策定協議会において策定されました。

○ このため、緊急輸送道路の橋梁の耐震補強については、平成7年の兵庫県南部地震等での橋梁の被災実態を踏まえ、昭和55年道路橋示方書より古い基準を適用した橋梁等で、特に優先的に耐震補強を実施する必要がある橋梁について、国と都道府県等が連携を図りながら、3箇年プログラム(平成17～19年度)に基づき、重点的に進めているところです。全国の3箇年プログラムでは、高速道路および直轄国道については概ね完了、都道府県管理道路については「優先確保ルート」^(注2)を選定して概ね完了を目指しているところです。なお、沖縄県における「優先確保ルート」については、平成19年度末までに完成予定です。

(注2)「優先確保ルート」とは、緊急輸送道路のうち、主要な防災拠点と市街地を結ぶなど、特に重要な区間をさします。

○ このたび、緊急輸送道路の橋梁耐震補強の取組み状況を分かりやすくお知らせするため、直轄国道と都道府県管理道路の緊急輸送道路の橋梁耐震補強について、現況(平成16年度末時点)及び平成19年度末時点の進捗見込みについて、地図(マップ)に表記して、インターネットのホームページ上に公表することにしました。なお、掲載したマップは、今後、橋梁の耐震補強の進捗状況を踏まえて、定期的に更新していくこととしています。

■ホームページアドレス(公表イメージ:別紙1-1, 1-2)

<http://www.mlit.go.jp/road/bosai/taisin/taisin.html>

○ 大規模地震発生時には、道路の被災情報等をマップ上に表記し、迅速に情報提供を行うこととしています。

平成18年3月2日

緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム策定協議会

問合せ先

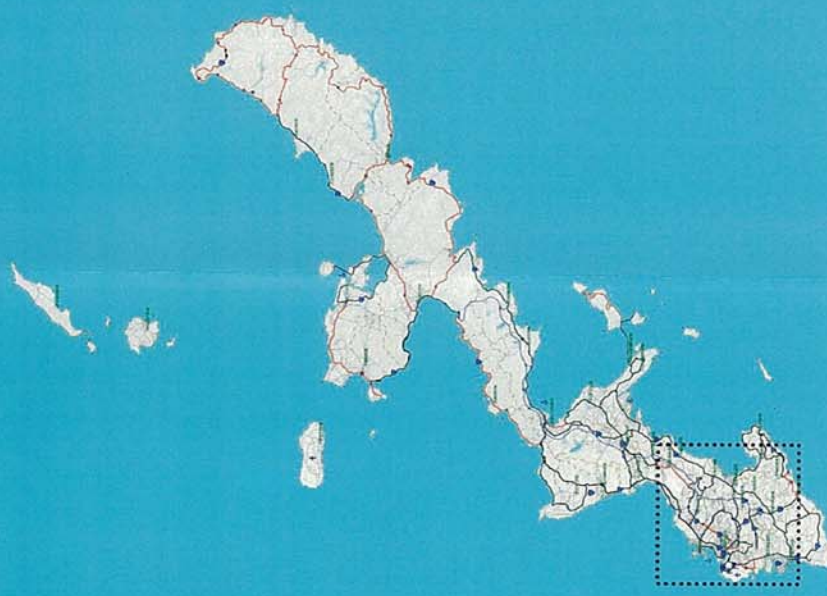
沖縄総合事務局	開発建設部	道路管理課	道路管理課長 上原
			課長補佐 恩河
			電話(直通861-4911)
沖縄県	土木建築部	道路管理課	道路管理課長 比嘉
			補修班長 新里
			電話(直通866-2665)
西日本高速道路(株)	沖縄管理事務所	工務担当課長 大串	
			電話(代表876-8950)

緊急輸送道路の橋梁耐震補強の状況：沖縄県（平成16年度末時点）

別紙1-1

マップイメージ

平成16年度末時点



凡例

●	緊急輸送道路の凡例	高速自動車国道、一般有料道路
○	緊急輸送道路の凡例	一般道路
■	緊急輸送道路の凡例	その他の道路（幅員5.5m以上）
▲	緊急輸送道路の凡例	行政次
△	緊急輸送道路の凡例	指定重要港湾・重要港
◇	緊急輸送道路の凡例	空港
○	緊急輸送道路の凡例	自治体主要拠点
○	緊急輸送道路の凡例	◎◎◎ 都道府県庁・市町村役所

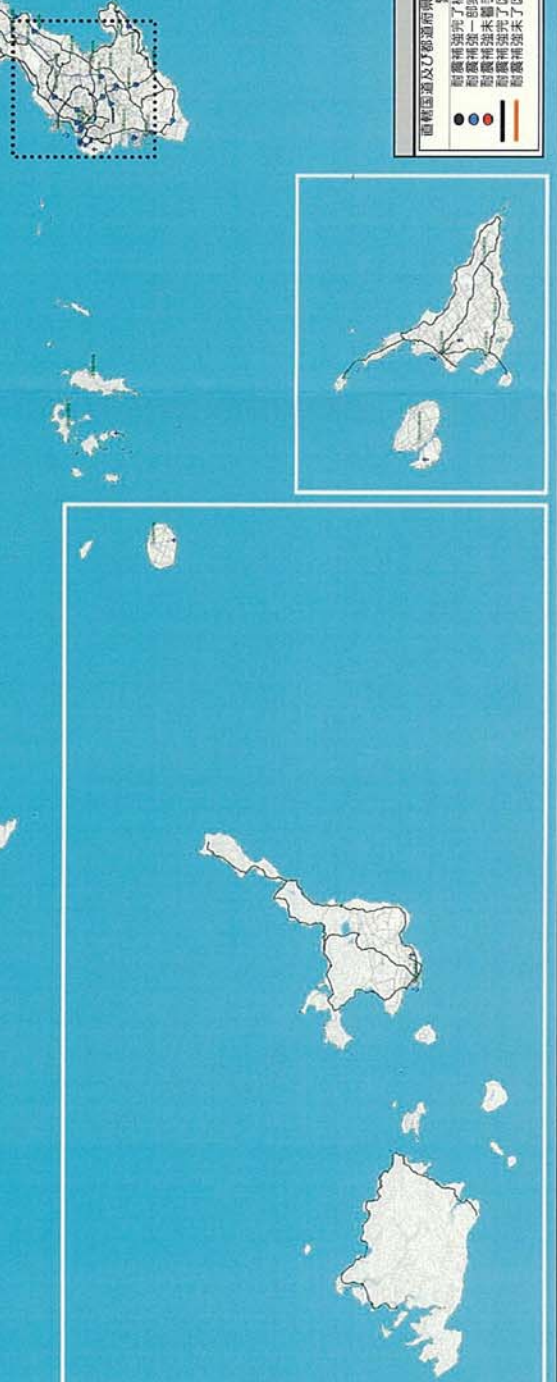
道路の補強状況
 補強完了済
 補強中
 補強予定
 補強未済
 補強未定

緊急輸送道路の橋梁耐震補強の状況：沖縄県（平成19年度末見込）

別紙1-2

マップイメージ

平成19年度末見込



例

●	国道	高速自動車国道、一般有料道路
○	道庁管轄の緊急輸送道路	一般国道
○	道庁管轄の緊急輸送道路	その他の道路（幅員5.5m以上）
○	道庁管轄の緊急輸送道路	行政内
○	道庁管轄の緊急輸送道路	特定重要港湾・重要港湾
○	道庁管轄の緊急輸送道路	自治体主要道路
○	道庁管轄の緊急輸送道路	自治体主要道路
○	道庁管轄の緊急輸送道路	自治体主要道路

(別紙2)

沖縄版

○緊急輸送道路の橋梁の耐震補強3箇年プログラム

<一般道路>

道路種別	要対策 橋梁数 [橋]	平成16年度末時点		平成19年度末時点(見込)	
		実施数 [橋]	実施率 [%]	実施数 [橋]	実施率 [%]
直轄国道	34	20	59%	34	100%
都道府県管理道路	23	2	9%	22	96%
うち優先確保ルート	20	2	10%	20	100%
直轄国道+都道府県管理道路	57	22	39%	56	98%
うち優先確保ルート	54	22	41%	54	100%

<高速道路>

道路種別	要対策 橋脚数 [橋脚]	平成16年度末時点		平成19年度末時点(見込)	
		実施数 [橋脚]	実施率 [%]	実施数 [橋脚]	実施率 [%]
高速自動車国道	35	3	9%	35	100%
合計	35	3	9%	35	100%

(注1)要対策橋梁数・橋脚数とは、平成7年兵庫県南部地震等で橋梁の被災状況を踏まえ、昭和55年道路橋示方書より古い基準を適用した橋梁等で、特に優先的に耐震補強を実施する必要のある橋梁・橋脚の数である。

(注2)実施数とは、耐震補強を実施済の橋梁及び一部実施済の橋梁の数である。

(注3)都道府県管理道路とは、都道府県が管理している一般国道及び都道府県道(主要市道含む)をさす。

(注4)高速自動車国道には、沖縄自動車道を含む。

(注5)上記の3箇年プログラムの表は、平成18年3月1日現在で整理したものであり、今後、必要に応じ見直しを行っていくこととしている。

橋梁耐震補強3箇年プログラム

「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム」(H17～H19)

○国、都道府県等が連携して策定。

(対象は、平成7年兵庫県南部地震等での橋梁の被災実態を踏まえ、昭和55年道路橋示方書より古い基準を適用した橋梁等で、特に優先的に耐震補強を実施する必要のある橋梁。)

○高速自動車国道、首都高速道路、阪神高速道路、本州四国連絡道路については、平成19年度までに概ね完了。

○直轄国道は、平成19年度までに概ね完了。

○都道府県管理道路は、「優先確保ルート」※1を選定し、平成19年度までに概ね完了。(※1「優先確保ルート」とは、緊急輸送道路のうち、主要な防災拠点と市街地を結ぶなど、特に重要な区間をさす。)

○本州四国連絡道路、高速自動車国道、首都高速道路、阪神高速道路、直轄国道等における長大橋梁については、構造特性や地盤状況に応じて専門的な解析を行い、その結果補強の必要が生じた場合には、3箇年プログラムの期間内に必要な措置を行う。

■一般道路 (橋梁数)

道路種別	要対策橋梁数 [橋]	平成16年度末時点		平成19年度末時点(見込)	
		実施数[橋]	実施率[%]	実施数[橋]	実施率[%]
直轄国道	4,393	2,358	53.7%	4,382	99.7%
都道府県管理道路	7,212	3,871	53.7%	4,943	68.5%
うち優先確保ルート	2,618	1,754	67.0%	2,592	99.0%
直轄国道+都道府県管理道路	11,605	6,229	53.7%	9,325	80.4%
うち優先確保ルート	7,011	4,112	58.7%	6,974	99.5%

■高速道路 (橋脚数)

道路種別	要対策橋脚数 [橋脚]	平成16年度末時点		平成19年度末時点(見込)	
		実施数[橋脚]	実施率[%]	実施数[橋脚]	実施率[%]
高速自動車国道	20,680	17,890	86.5%	20,680	100%
首都高速道路	7,221	7,221	100%	7,221	100%
阪神高速道路	7,734	7,673	99.2%	7,734	100%
本州四国連絡道路	164	105	64.0%	164	100%
合計	35,799	32,889	91.9%	35,799	100%

(一般橋梁部)

(注1)要対策橋梁数・橋脚数とは、平成7年兵庫県南部地震等での橋梁の被災実態を踏まえ、昭和55年道路橋示方書より古い基準を適用した橋梁等で、特に優先的に耐震補強を実施する必要のある橋梁・橋脚の数である。

(注2)実施数とは、一般道路については耐震補強を実施済の橋梁及び一部実施済の橋梁の数、高速道路については当該年度までに耐震補強が完了する橋脚の数である。

(注3)都道府県管理道路とは、都道府県・政令市が管理している一般国道及び都道府県道(主要市道含む)をさす。

(注4)上記の3箇年プログラムの表は、平成18年3月1日現在で整理したものであり、今後、必要に応じ見直しを行っている。

(参考)

兵庫県南部地震における道路橋の被害

○上部構造（桁）の落下



写真. 阪神高速道路の落橋
(西宮市浜脇町)



写真. 阪神高速道路の落橋
(西宮市甲子園浜)

○下部構造（橋脚）の倒壊等



写真. 阪神高速道路の
橋脚の被災
(神戸市東灘区深江本町)

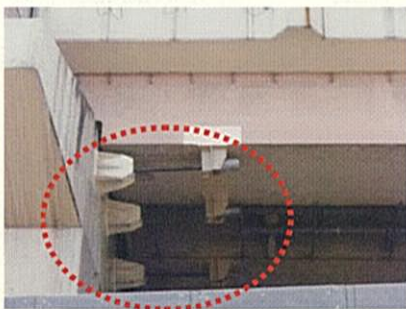


写真. 阪神高速道路の
橋脚の被災
(神戸市長田区西尻池町)

道路橋の耐震補強

○上部構造（桁）の落下防止対策の例

—上部（桁）と下部（橋脚）をケーブルで連結する構造—

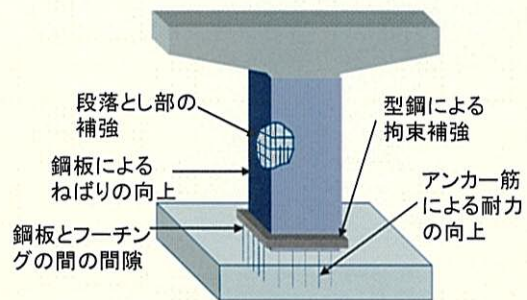


—縁端拡幅ブラケットによる桁の落下防止—



○下部構造（橋脚）の耐震補強の例

—鉄筋コンクリート橋脚の鋼板巻き立て補強工法—



■ 新幹線、高速道路をまたぐ橋梁（跨線橋、跨道橋）



写真. 東海道新幹線をまたぐ橋梁



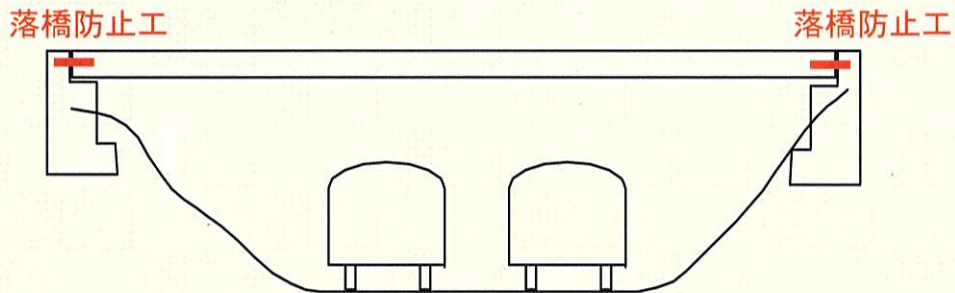
写真. 高速道路をまたぐ橋梁



写真. 兵庫県南部地震における跨線橋（在来線）の被災状況

■ 耐震補強の対象例

○ 新幹線をまたぐ両端が鏡台の単純桁の場合



○ 連続高架橋（単純桁橋）の場合

